

酷暑の砌 宮崎県防衛協会青年部会宮崎支部の皆様には益々ご清福の段、大慶に存じます。
また日頃より皆様には当支部運営に当たり、特段のご高配を賜り感謝申し上げます次第です。

7月の自衛隊関連行事は1日に新田原基地ゴルフコンペがトムワトソンGCにて開催され、40組を超える大きな大会でしたが、宮崎地本の皆様と愉しくプレーさせて頂きました。

また2日は、横須賀の武山駐屯地にて少年工科学校12期殉職生徒の50回忌慰霊祭が、岡部陸幕長参列の元に厳粛に挙行され、13人の遺影に向かって放たれた弔銃は49年前の悲劇を想起させ、二度と繰り返してはならぬと参列者一同決意も新たにいたしました。

同24日に宮崎県防衛協会青年部会総会を都城メインホテルで開催し、宮崎支部から3名参加しましたが、下森会長が今年度で退き、来年度からは長倉都城支部長が会長就任する事などが決議されました。

ところで皆様は「東トルキスタン」と云う国をご存じでしょうか？

現在は中国の「新疆ウイグル自治区」と呼ばれていますが、29日にその亡命政府の「アフメッドジャン・オスマン大統領」が来宮されて、JAAZMホールにて2時間の講演をされました。

詳細は同封資料に譲りますが、平和ボケの日本も国防の大事を怠るといつの間にか中国に蚕食されて、第2、3の「東トルキスタン」や「チベット」になりますよとの警鐘は参加者の心に響き、その後の質疑応答では日本の現状を憂える方々からの発言が相次いだところです。

53歳の「アフメッドジャン・オスマン大統領」は14歳でデビューした詩人であり、百人一首や万葉集をウイグル語やアラビア語に翻訳する中で、日本人とウイグル人の豊かな感性の共通点を見出し、大の親日家になられたとのことでした。

是非とも同封資料をご一読頂き、質問や感想をお聞かせ願えれば幸甚に存じます。

さて今月も小川先生のメルマガから面白い記事が届きましたので、ご紹介致します。

・是々非々とはほど遠いマスコミ

学校法人「加計学園」問題などに関する衆参両院の閉会中審査のテレビ中継を眺めていて、**読売、産経新聞以外のマスコミ報道に溜息が止まりません。**

私は別に読売、産経のファンなどではないのですが、**小野寺五典元防衛大臣の質問、加戸守行元愛媛県知事の発言**が、テレビのニュースでも、新聞記事でもほとんど報道されなかったから

です。

私は**安倍晋三首相**が引き起こした一連の騒動について、基本的に同情しないことにしていますが、それでも閉会中審査で述べられる内容については**是は是、非は非**で眺めようとしてきました。

しかし、多くのマスコミにはそんな気はさらさらなようです。

小野寺さん、加戸さんが述べたことは、Facebookなどではきちんと評価している人が少なくないのに、マスコミの多くはどのように**無視**するような態度をとるのでしょうか。

理由ははっきりしています。小野寺さん、加戸さんが述べたことを、それも野党の追及と同じペースを割いて報道することになれば、**安倍首相に有利な材料**もないわけではないこと、前川喜平前文部科学事務次官ら野党が支持する**参考人の意見が必ずしも正しいとは言えないこと**、などが国民の知るところとなってしまうからです。

こんなことを私が断定口調で申し上げるのは、**私自身が「経験者」**だからです。それも何回もあります。

例えば、2015年7月1日に行われた衆議院**平和安全法制特別委員会**の**参考人質疑**の時、私は与党の公明党から推薦されて意見を述べ、質問にも答えました。

自分で言うのは気恥ずかしい限りですが、私の意見陳述はほかの参考人を圧倒していたことは間違いなく、野党の**民主党**(当時)からも「**小川さんの言うとおりに**だ」という声が与党側に寄せられたほどでした。

私の意見陳述はYouTubeなどで拡散され、全部を合わせると実に100万回以上は再生されたと思われま

しかし、マスコミでは参考人の一人として氏名が報じられ、集団的自衛権について**賛成の立場**だと説明されただけでした。

それとは**対照的に**、衆議院の憲法審査会で自民党と公明党から推薦された**長谷部恭男さん**(早稲田大学法学学術院教授)が「**安保法制は違憲**」と政府与党に対して否定的な見解を述べたときは、大々的に報じられ、一躍スターになったかのような扱われ方でした。

これを見ればわかるように、**多くのマスコミ**は基本的に自公政権を攻撃しようとする姿勢を隠していないのです。

このようなマスコミの**恣意的な姿勢**に対しては、SNSを活用しながらマスコミ報道の**チェック**を進

めていく必要があると思います。

6月21日に発足の記者会見を行い、私も呼びかけ人の一人であるFIJ(ファクトチェック・イニシアチブ・ジャパン)の活動が、一日も早く軌道に乗ることを願わずにはられません。 以上

北朝鮮がICBMを打ち上げて挑発を重ねる中、国会閉会中審査とか云う国会TV中継を見て、日本の国会議員は何かおかしいと感じたのは私だけではなかったようです。

森友や加計問題は安倍首相が本当に行政を歪めたのなら司直の手に委ねれば済むことであり、現に籠池氏は当局の出頭要請に応じて逮捕間近との報道も聞きました。

TVのワイドショーよろしく、まるでゲストコメンテーターのような野党議員の無責任な質問には辟易し、ついついチャンネルを変えてしまいたくなるのも、私一人ではなくて安心したところ です。

冒頭の「東トルキスタン」国境はヤルタ会談の結果動かされたようですが、オスマン大統領は、「中共は笑顔で東トルキスタン領内に入り込み機が熟したと見るや豹変して、今からここは中国になったと、銃を突きつけてウイグル人を脅迫して服従させた」とも云われていました。

民進党の支持率は自民党の下落率より落ち込み、都議選の敗北を受けて連舫代表と野田幹事長が辞任して、解党がまことしやかに囁かれているようです。

野党の国会議員にお願いしたいのは、大臣の言葉狩りや上げ足取りに終始して大臣の首を取ることに血道を上げるのではなく、北朝鮮のICBMや拉致問題や中国の日本人不当勾留等のそこにある危機に関心を持ち、その対応策を考えて欲しいと考えます。

よくTV討論などで野党議員は「北朝鮮や中国対策の唯一の解決法は、事が起こる前に外交努力を行い、話し合いで解決しなければならぬ」云われるようですが、どう楽天的に考えてもその話し合いの結果妥協させられるのは、適地攻撃能力のない日本のような気がするのですが？

8/15は午前10時より宮崎県護国神社にて終戦記念奉告祭が執り行われますので、是非ご臨席賜り、護国の英霊の御霊に哀悼の誠を捧げていただければ幸いです。

いよいよ夏本番につき、連日の猛暑にめげず呉々もご自愛専一にお過ごし下さい。

平成29年8月1日

宮崎県防衛協会 青年部会 宮崎支部長 小倉和彦